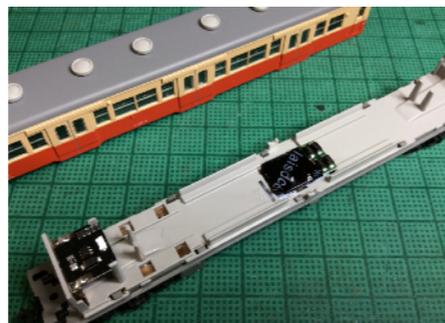


TRAINO ExpBoard(N) EC-タイプF [Ver 1] 説明書

● 概要

EC-タイプFは、一部のKATO製品(電車や気動車)に採用されている床下タイプのプリント基板を交換することでDCC化するためのアイテムです。デコーダとの繋ぎ方は2通り、右の写真のようにデコーダを床に置く方法と、EC-SlimなどのDCCデコーダに繋ぐための中継基板にする方法があります。

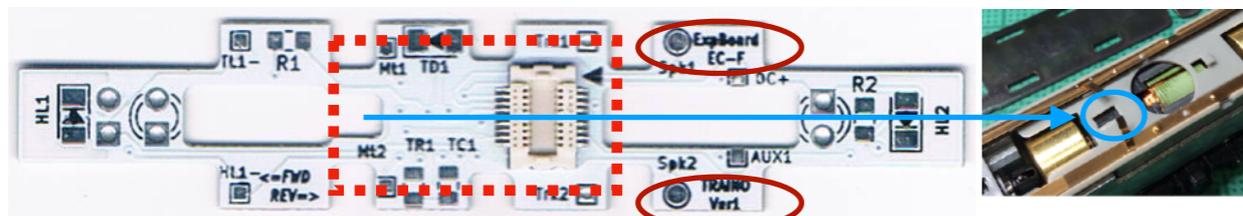


● 仕様

外形	70mm×14mm×0.6mm (プリント基板本体のみ、電子部品を除く)
DCC入力	19Vmax (DCCデコーダの電源電圧範囲を超えない範囲でお使いください)
モータ出力	最大500mA (利用されるデコーダの最大電流以下でお使いください)
ヘッドライト/テールライト	基板上にLED用パッドが準備されています。純正基板のLEDを移設することも可能です。
室内灯	メーカー純正品を取り付けできます。

● プリント基板の組み立て方法

まず、DCC化したい車両を分解します。そこでモーターの位置 (もしくはモータをロックするパーツの位置) を確認してください。

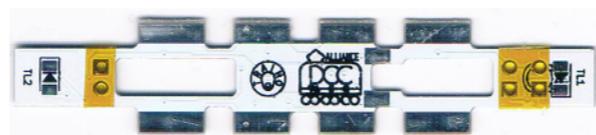


▲モーターの端子

▲スピーカーに接続

取り外した基板を標準基板と同じ向きにおいて、四つあるLEDのどれが疲れているかを確認してください。また、同じサイドのチップ抵抗(R1,R2)も取り付けてください。

なお、プリント基板の下側 (改造用部品パッド) にはウエイト (アルミダイキャスト) と触れてショートしないよう、保護テープを貼り付けてあります。M車の場合は剥がさないでください。



● 部品表

部品番	用途	推奨部品	スタンダード	エコノミー	イージー
本体	-	-	2枚	4枚	2枚
J1	Next18コネクタ	No.11001(DesktopStation)	実装済み	未実装	実装済み
FNT1,F	ライト	NSSW020BT他	未実装	未実装	実装済み
R1,R2	LED電流制限	680Ω2012サイズ	未実装	未実装	実装済み
TC1			-	-	-

● メカイスの加工とスピーカーへの配線

DCCデコーダを取り付けた後、その形状に合わせてパーツをカットしてください。Loksound5 microなどをSpk1,Spk2につないでください。

なお、床上にデコーダを出したくない場合は、EC-タイプFを以下の中継基板として使い、屋根裏などにデコーダを隠してください。



● 中継基板としての使い方

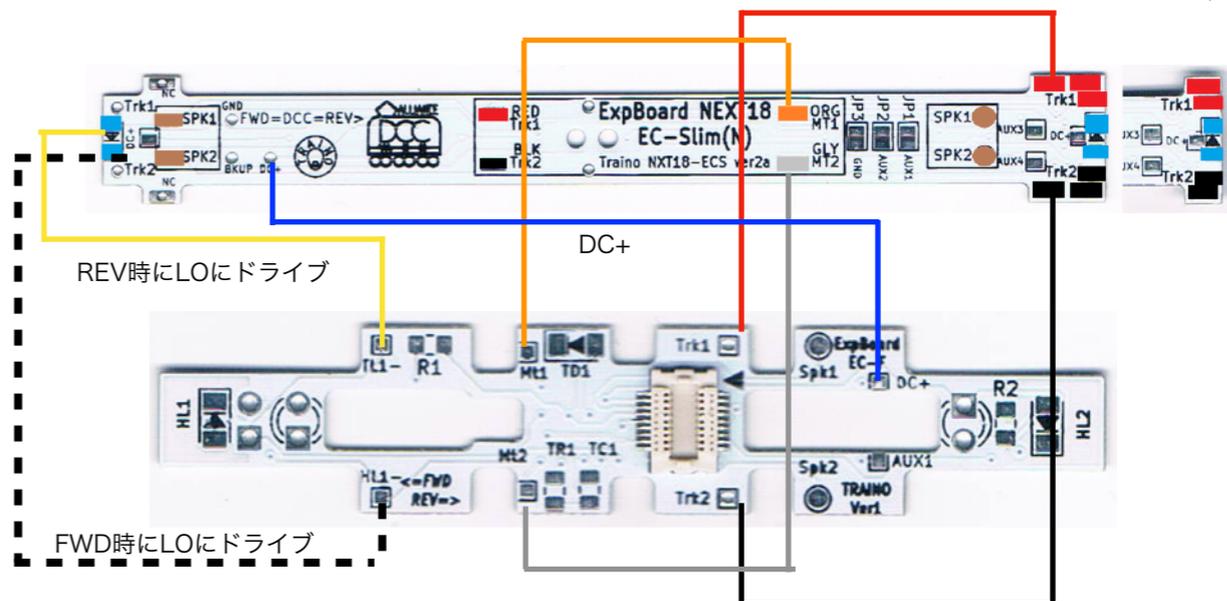
中継基板として利用するときは、以下のEC-Slimとの配線を参考にしてください。なお、配線はNEM651規格に準じた色で示しています。

オレンジ/グレー：モーター配線

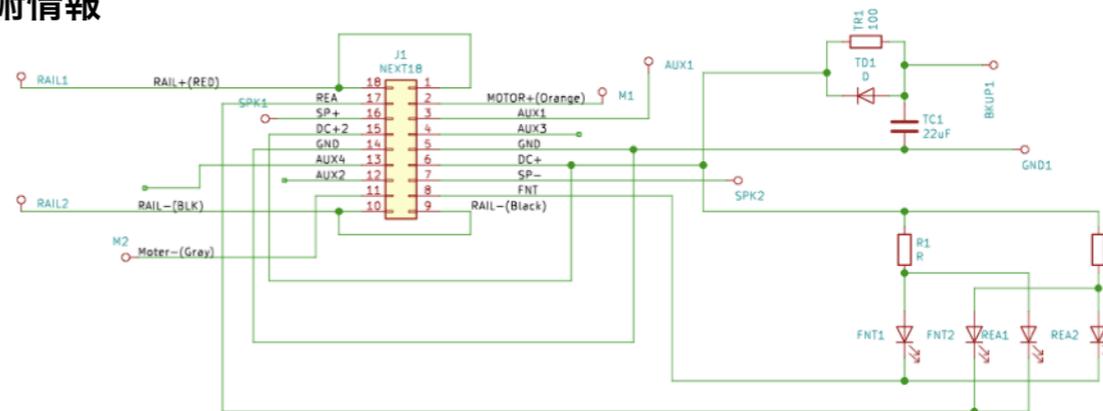
赤/黒：レールからの配線

(KATO集電版で繋ぐことも可能)

(KATO集電版で繋ぐことも可能です)



● 技術情報



ヒント：DCCの前進方向はCV値で変更できますが、デコーダ装着向きを180度回転させても変更できます。

注意事項：

<https://desktopstation.net/wiki/doku.php/expboardecn>を参照願います。

何か商品にお気づきの点がございましたら、

traino@desktopstation.net にご連絡をお願いします。 2020-7-5 改番 -1